

庄原市における地域公共交通の課題の整理（事務局 案）

庄原市における公共交通を取り巻く問題点は様々ありますが、本計画期間中に、優先的に取り組む課題を次のとおり整理します。

<優先課題1> 生活を支えることのできる地域公共交通を確保する

市民アンケートでは、第2期再編計画の評価指標でもある「交通手段がないために外出できなかったことがよくある」と回答した人は4.2%で、目標値「3.0%以下」を達成することはできませんでした。

これは、運転免許証の返納者が増えたことにより自家用車に比べて自由に移動できない公共交通に不便を感じる方や、高齢になり足腰や体力が弱ってきたためにバスやJRでの移動が難しくなっている方が増えているからではないかと考えられます。

また、市内の学校に通う学生の交通手段を確保することは、学生の学習を支えるとともに、学校の存続のためにも重要です。

これら高齢者や学生など運転免許証を有しない方の生活を支えることができる公共交通の確保を、引き続き進めていく必要があります。

また、地域の人口減少に伴って地域内の生活拠点機能（医療機関、商業施設等）が縮小したため、通院や買い物のために庄原市街地まで出てこなければならない方も増えています。このため、これまで地域内で完結していた生活交通路線の見直しや乗継拠点となる施設との連携による待合機能の充実も必要です。

- 高齢者の通院や買い物に使いやすい公共交通の確保
- 学生の通学手段の確保
- 地域の生活拠点（医療機関や商業施設など）の縮小に伴う生活エリアの拡大に対応する公共交通の確保
- 乗継拠点となる施設の待合機能の充実

<優先課題2> 持続可能な生活交通の提供

庄原市内の生活交通路線の多くは、市の補助金や委託料により行政が財政負担を行っています。市民アンケートでは、「公共交通に対する市の財政負担の在り方」についての問いに対し、「サービスを見直して、今と同程度以内の財政負担とすべき」との回答が41.0%と最も高い割合となっています。

また、近年では、路線縮小の原因として、利用者の減少だけでなく、公共交通の担い手（運転手、事業者など）が確保できないことも課題となっています。

限られた資源で必要な生活交通を確保するため、ニーズやデータを踏まえながら、各交通モードの特性を活かした効率的・利便的な交通サービスの検討が必要です。

- 市の財政負担の抑制
- 担い手（運転手、サービス提供者など）の確保
- ニーズやデータに基づく効率的なサービスの検討

＜優先課題3＞ 多様な主体が連携し、自ら公共交通を守り育くむ意識の醸成

本市では、これまでも市と交通事業者、地域住民が話し合いながら、地域の交通資源とニーズ(需要)をすり合わせつつ、それぞれの地域の実状に応じ、生活交通を確保してきました。

しかし、人口減少と高齢化が続き、資源もニーズも次第にその「量」が減っていく中で、地域特性に応じた多様な交通手段を組み合わせ、身の丈に合った交通サービスを提供することが重要となっています。

このため、今後は、地域公共交通活性化再生法の規定に基づく法定協議会として設置する庄原市地域公共交通会議の機能をさらに深化させ、多様な主体が連携・協働して課題を共有化し、役割を分担しながら「地域の生活交通を守り育てる」取組を推進していくことが求められています。

また、取組を行う中で、各主体が地域公共交通を自らのこととして捉え、「乗りたい」と思える魅力ある公共交通と一緒に創っていく必要があります。

- 地域公共交通会議の機能の深化
- 行政(県・市)と交通事業者、地域住民、関係団体等の連携と役割分担による公共交通マネジメントの推進
- 自治振興区の取組支援
- 交通事業者間の連携による事業の促進
- 「乗って残そう 公共交通」＋「乗りたい 公共交通」

＜優先課題4＞ 公共交通による“楽しさ”と“交流”のあるまちづくり

地域公共交通の利用による外出機会の増加は、市民の健康増進や介護予防につながることも期待されています。

地域社会の活力や市民のQOL向上の観点から、通学、通院、買い物等の日常生活上不可欠な移動に加え、文化活動やコミュニティ活動、遊びのための活動、その他様々な活動のための外出を容易にすることを通じて、社会参加の機会を増やすことが重要となっています。

また、市内外の交流拡大や観光振興の基盤としての役割も求められています。

- 公共交通を利用した社会参加の機会や楽しみの創出
- 他分野との連携(健康・介護予防、観光、商業など)

＜＜基本理念＞＞

上記の課題を踏まえ、庄原市の市民が楽しく、安心して暮らすことができ、出かけたい交通を整え、庄原を訪れる人も楽しむことできる交通サービスの実現をめざすため、庄原市における今後の交通計画の基本理念を、次のように定めます。

生活を支え、交流を楽しみ、みんなで育む 持続可能な地域公共交通の実現